

経年的に環境基準等を超過している地域等の抽出について

1. 経緯

平成17年6月の第9回中央環境審議会大気環境部会有害大気汚染物質排出抑制専門委員会（以下「専門委員会」という。）において、国においては有害大気汚染物質に係る排出量や環境濃度等を評価・検証するとともに、同一地点における経年的な環境基準等超過が見受けられる場合等には、必要に応じて、地域主体の排出抑制対策を支援することとされた。

このため、資料3に示した全国的な排出量や環境濃度の傾向の検証に加え、経年的に環境基準等を超過している地点と当該地点を含む地域における対策の実施状況を確認するものである。

2. 経年的に環境基準等を超過している地点等の抽出の考え方

以下に示すとおり、平成18年3月の第10回専門委員会で行った抽出方法に則り、直近3カ年のモニタリング結果を用いて、以下の要件に該当する地点を抽出し、各地域における対策の実施状況を検証する。

a) 継続超過地点

- ① 直近の2カ年連続で環境基準等を超過した地点

b) 上昇傾向地点

- ② 過去3カ年の濃度が上昇傾向にあつて、直近1年の濃度が環境基準等を超過した地点
- ③ 直近1年の濃度は環境基準等を下回つたが、2年目に環境基準等を超過しており、過去3カ年を通して見ると上昇傾向にある地点

※ 地点の抽出には、平成16年度から18年度のモニタリング結果を用いる。また、月1回以上の頻度で1年間にわたって測定されたものを用いることとする。

3. 継続超過地域等の抽出結果

上記の考え方にに基づき継続超過地点等を抽出した結果を表1に示す。該当する物質はベンゼン、ニッケル化合物及び1,2-ジクロロエタンの3種類であった。

また、これらの地点を含む地域の数は、ベンゼンについて継続超過地域2ヶ

所、上昇傾向地域2ヶ所、ニッケル化合物について継続超過地域2ヶ所、上昇傾向地域2ヶ所、1,2-ジクロロエタンについて上昇傾向地域3ヶ所であった(表2～4)。

なお、ベンゼンで地域区分が沿道である継続超過地点③、④及び上昇傾向地点⑦～⑫については、PRTR情報によると、周辺に大きな固定発生源が存在しないこと、また、沿道から発生源により近い測定局では環境基準を超過していないことなどから、超過の原因は主に移動発生源によるものと考えられる。このため、これらの地点については、資料4-2において対策の現状を確認する対象地域に含めていない。

表1 地域の抽出結果の総括表(測定局ベース)

物質名	環境基準等		I. 継続 超過 地点	(測定局数)			II. 上 昇 傾 向 地 点	(測定局数)		
	種類	値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		一般 環境	発生源 周辺	沿 道		一般 環境	発生源 周辺	沿 道
(1)ベンゼン	環境 基準	3	5	0	3	2	11	1	1	9
(2)トリクロイレン		200	0	0	0	0	0	0	0	0
(3)テトラクロイレン		200	0	0	0	0	0	0	0	0
(4)ジクロメタン		150	0	0	0	0	0	0	0	0
(5)アクリロニトリル	指針値	2	0	0	0	0	0	0	0	0
(6)塩化ビニルモノマー		10	0	0	0	0	0	0	0	0
(7)水銀及びその化合物		0.04	0	0	0	0	0	0	0	0
(8)ニッケル化合物		0.025	2	0	0	2	3	0	3	0
(9)1,2-ジクロイタン		1.6	0	0	0	0	3	1	2	0
(10)1,3-ブタジエン		2.5	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)クロホルム		18	0	0	0	0	0	0	0	0

水銀及びその化合物、ニッケル化合物の指針値は、それぞれ総水銀、総ニッケルとしての値。

表2 ベンゼンに係る継続超過地域等の抽出結果

地域名		測定局名	測定局の地域分類	測定局ベースの分類結果
I. 継続超過地域	①倉敷地域	松江局	発生源周辺	a)
	②坂出地域	瀬居島局	発生源周辺	a)
	③東京23区地域	環七通り松原自動車排ガス測定局（環境省）	沿道	a)
	④大分地域	自動車排ガス中央測定局	沿道	a)
自動車排出ガス宮崎測定局		沿道	a)	
II. 上昇傾向地域	⑤千葉・市原地域	真砂公園	一般環境	b)
		千葉市福正寺局（環境省）	発生源周辺	b)
	⑥川崎地域	池上新田公園前局	沿道	b)
	⑦藤沢地域	藤沢橋局	沿道	b)
	⑧横浜地域	磯子区滝頭局	沿道	b)
	⑨豊中・吹田地域	市役所局	沿道	b)
		吹田簡易裁判所局	沿道	b)
	⑩北九州地域	西本町測定所	沿道	b)
	⑪福岡地域	比恵自動車排ガス測定局（環境省）	沿道	b)
	⑫熊本地域	水道町局	沿道	b)
		神水本町局	沿道	b)

表3 ニッケル化合物に係る継続超過地域等の抽出結果

地域名		測定局名	測定局の地域分類	測定局ベースの分類結果
I. 継続超過地域	①川崎地域	池上新田公園前局	沿道	a)
		大師健康ランチ局	発生源周辺	b)
	②北九州地域	西本町測定所	沿道	a)
II. 上昇傾向地域	③新潟地域	西福島局	発生源周辺	b)
	④大分地域	佐賀関測定局	発生源周辺	b)

表4 1, 2-ジクロロエタンに係る継続超過地域等の抽出結果

地域名		測定局名	測定局の地域分類	測定局ベースの分類結果
II. 上昇傾向地域			発生源周辺	b)
	①市原地域	川岸測定局		b)
	②倉敷地域	松江局	発生源周辺	b)
	③山口地域	周南市役所局	一般環境	b)



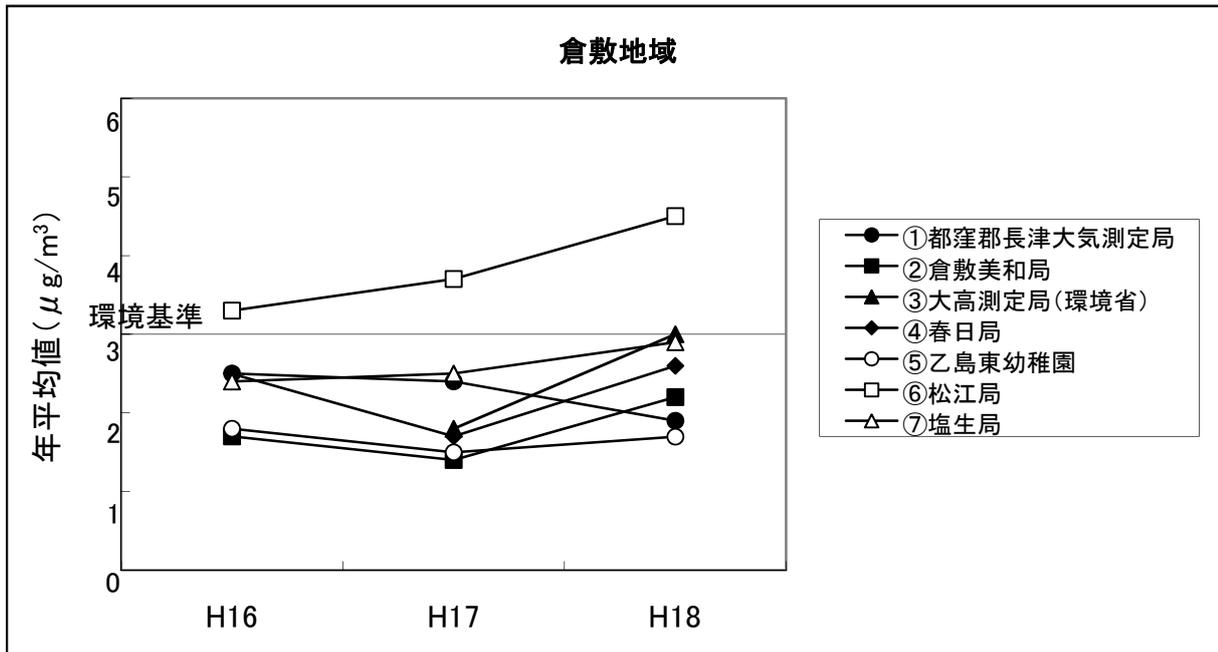
◆ 測定局 (モニタリングデータあり)
◇ 測定局 (モニタリングデータなし)
二重囲み：要監視地点の選定基準に合致

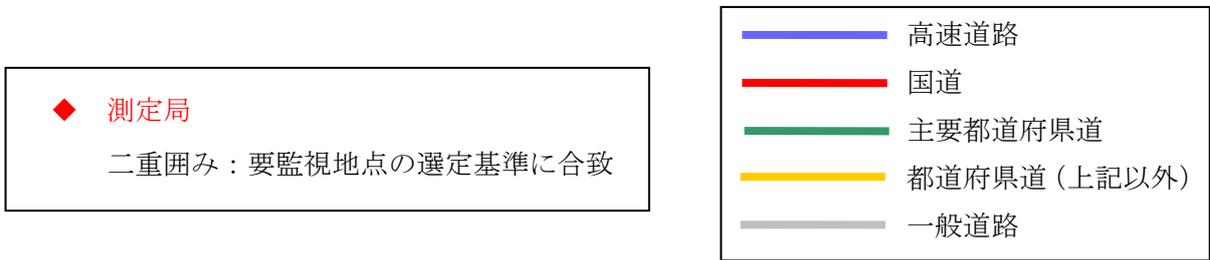
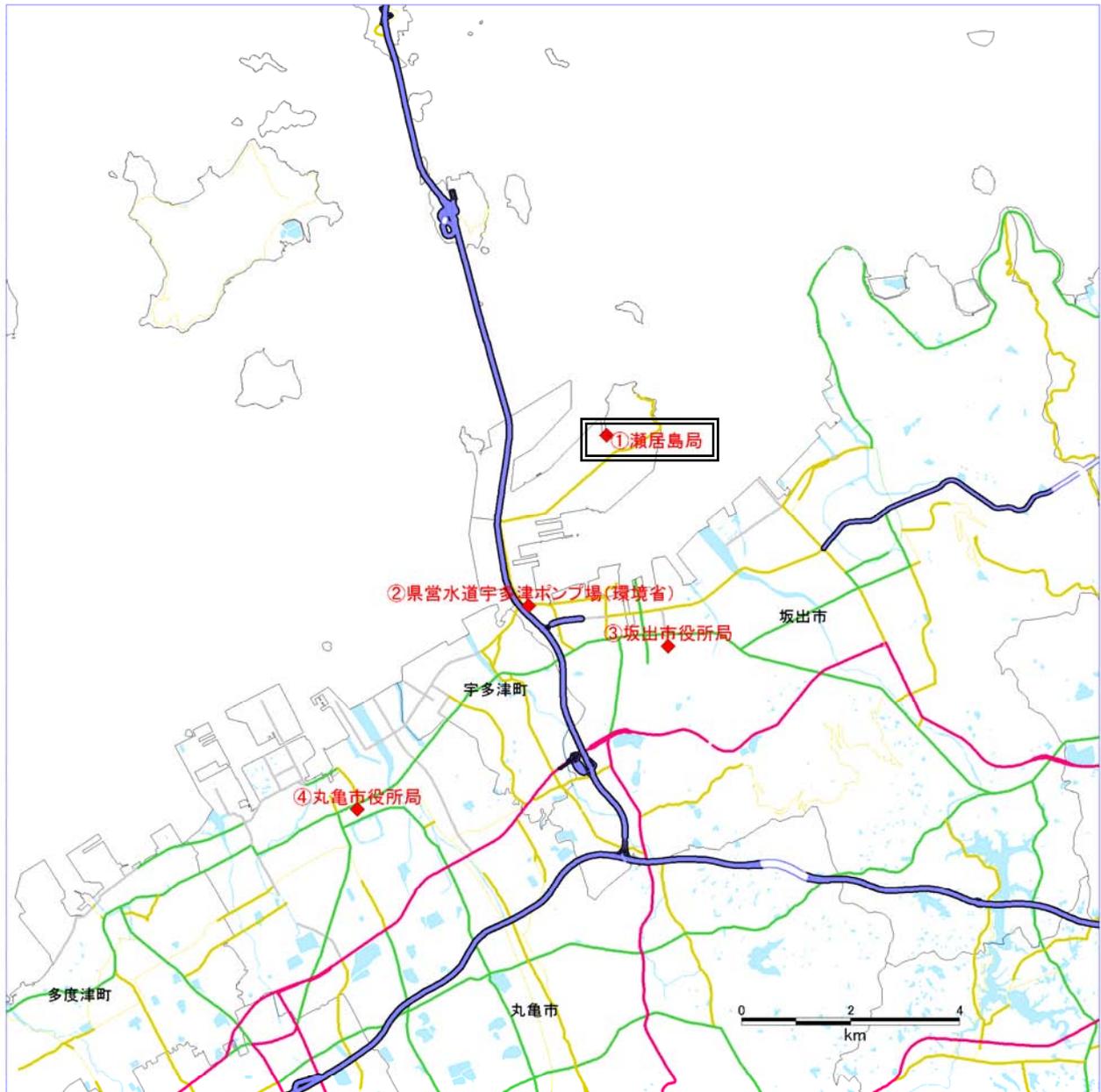
— 高速道路
— 国道
— 主要都道府県道
— 都道府県道 (上記以外)
— 一般道路

図表 倉敷地域の周辺状況 (ベンゼン、継続超過地域)

倉敷地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①都窪郡長津大気測定	沿道	2.5	12	2.4	12	1.9	12	
②倉敷美和局	一般環境	1.7	12	1.4	12	2.2	12	
③大高測定局（環境	沿道	—	—	1.8	12	3	12	
④春日局	発生源周辺	2.5	12	1.7	12	2.6	12	
⑤乙島東幼稚園	発生源周辺	1.8	12	1.5	12	1.7	12	
⑥松江局	発生源周辺	3.3	12	3.7	12	4.5	12	A)
⑦塩生局	発生源周辺	2.4	12	2.5	12	2.9	12	

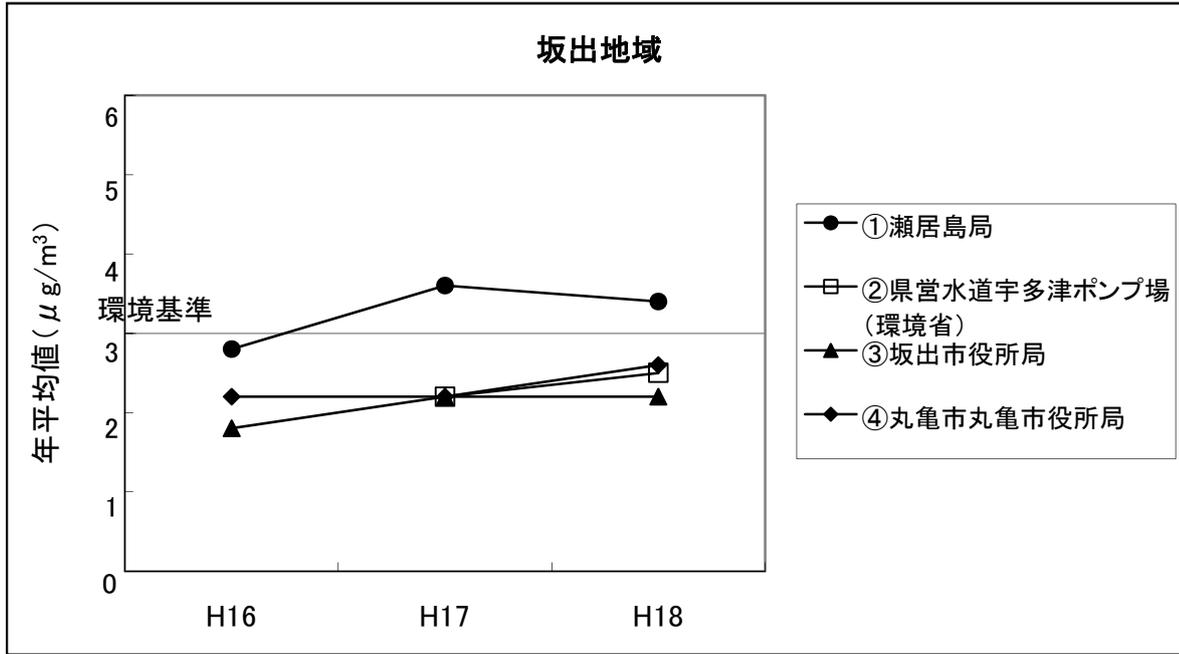


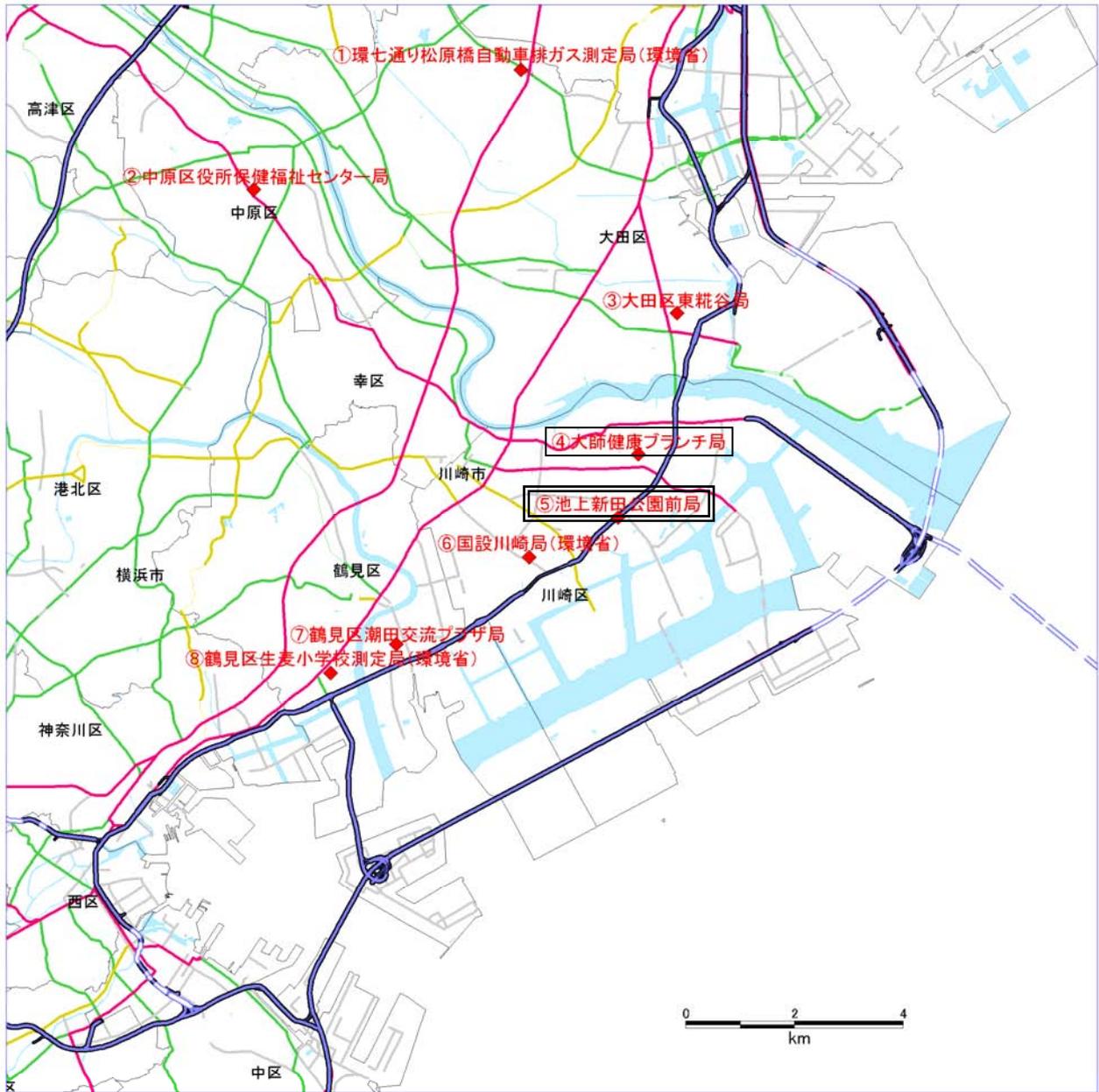


図表 坂出地域の周辺状況（ベンゼン、継続超過地域）

坂出地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①瀬居島局	発生源周辺	2.8	12	3.6	12	3.4	12	A)
②県営水道宇多津ポンプ場(環境省)	沿道	—	—	2.2	12	2.5	12	
③坂出市役所局	一般環境	1.8	12	2.2	12	2.2	12	
④丸亀市丸亀市役所局	一般環境	2.2	12	2.2	12	2.6	12	





◆ 測定局

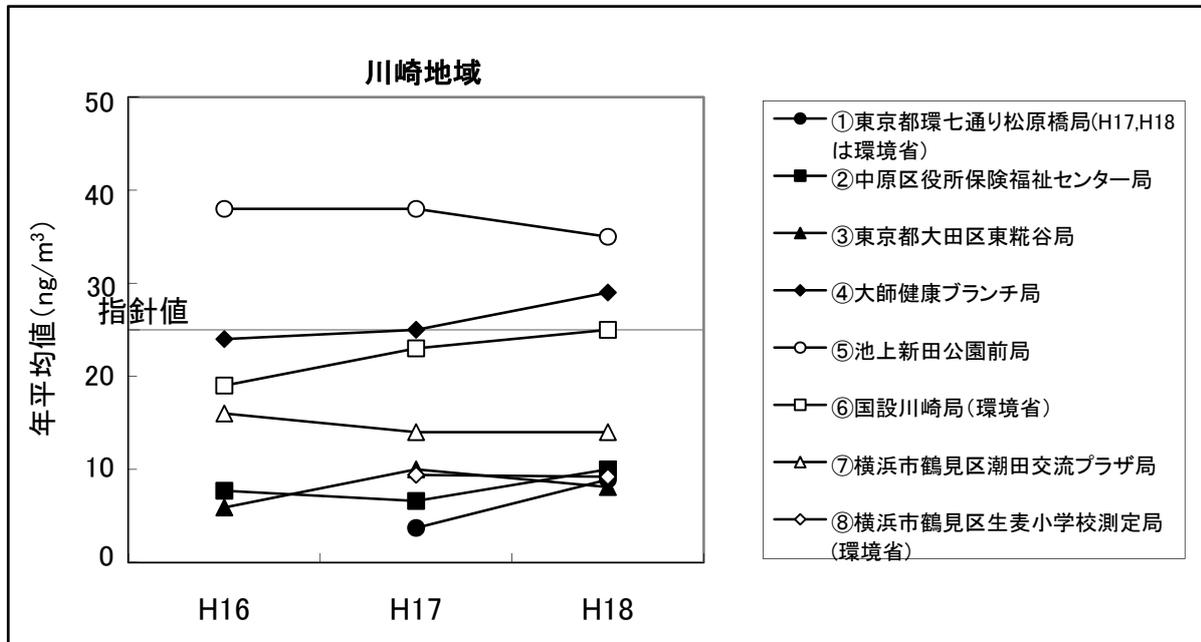
二重囲み：要監視地点の選定基準に合致
一重囲み：要調査地点の選定基準に合致

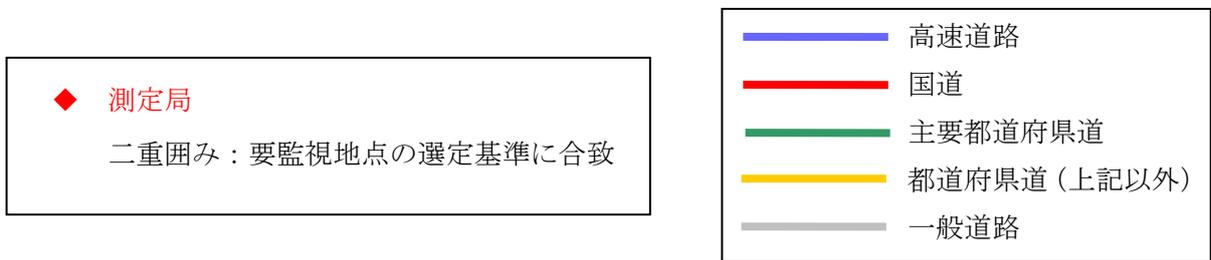
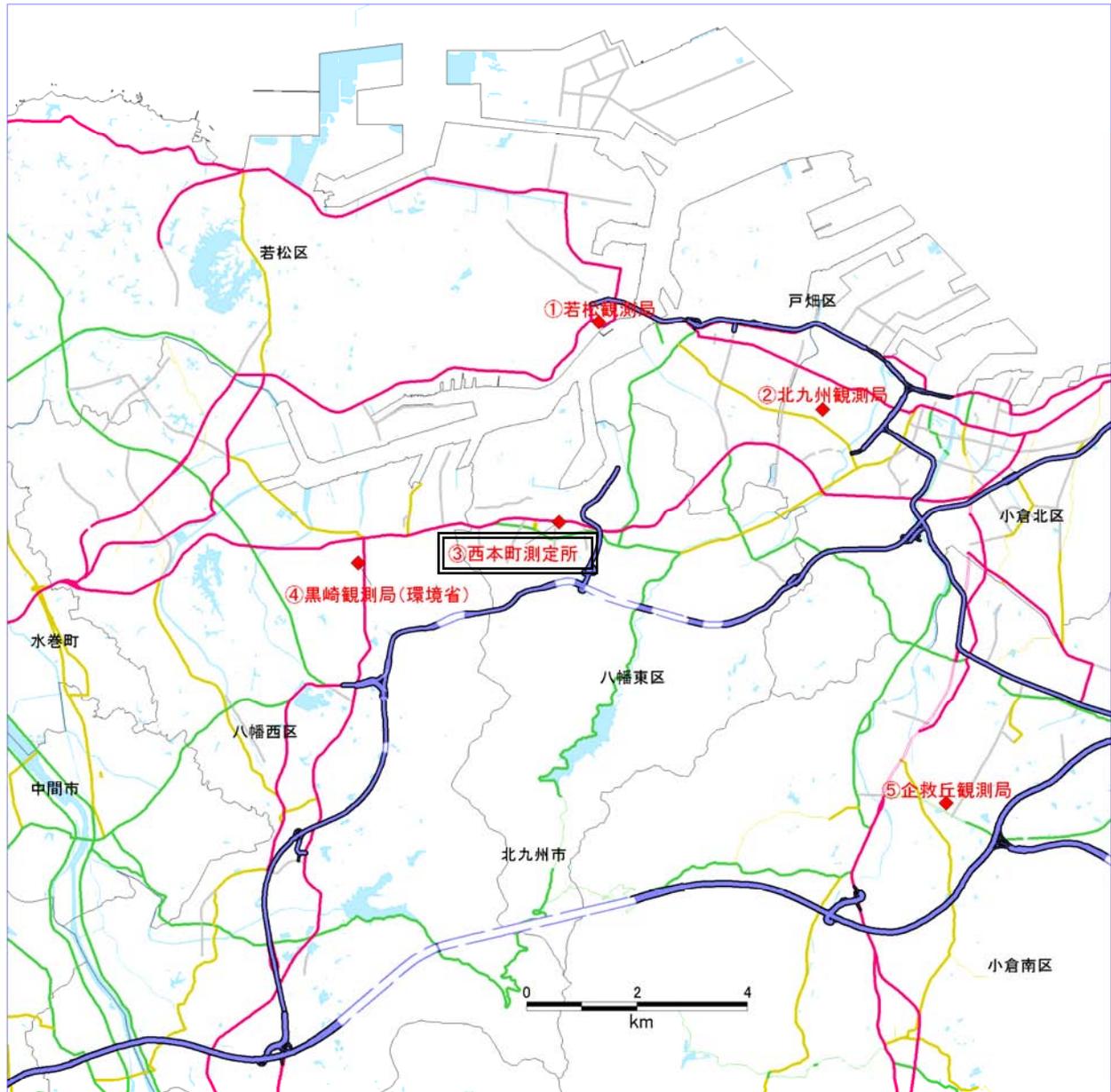
— 高速道路
— 国道
— 主要都道府県道
— 都道府県道(上記以外)
— 一般道路

図表 川崎地域の周辺情況（ニッケル化合物、継続超過地域）

川崎地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		(ng/m ³)		(ng/m ³)		(ng/m ³)		
①東京都環七通り松原橋局 (H17, H18は環境省)	沿道	—	—	3.7	12	8.9	12	
②中原区役所保険福祉センター局	一般環境	7.7	12	6.6	12	10	12	
③東京都大田区東糀谷局	一般環境	5.9	12	10	12	8.1	12	
④大師健康ランチ局	発生源周辺	24	12	25	12	29	12	B)
⑤池上新田公園前局	沿道	38	12	38	12	35	12	A)
⑥国設川崎局 (環境省)	一般環境	19	12	23	12	25	12	
⑦横浜市鶴見区潮田交流プラザ局	発生源周辺	16	12	14	12	14	12	
⑧横浜市鶴見区生麦小学校測定局 (環境省)	発生源周辺	—	—	9.4	12	9.2	12	

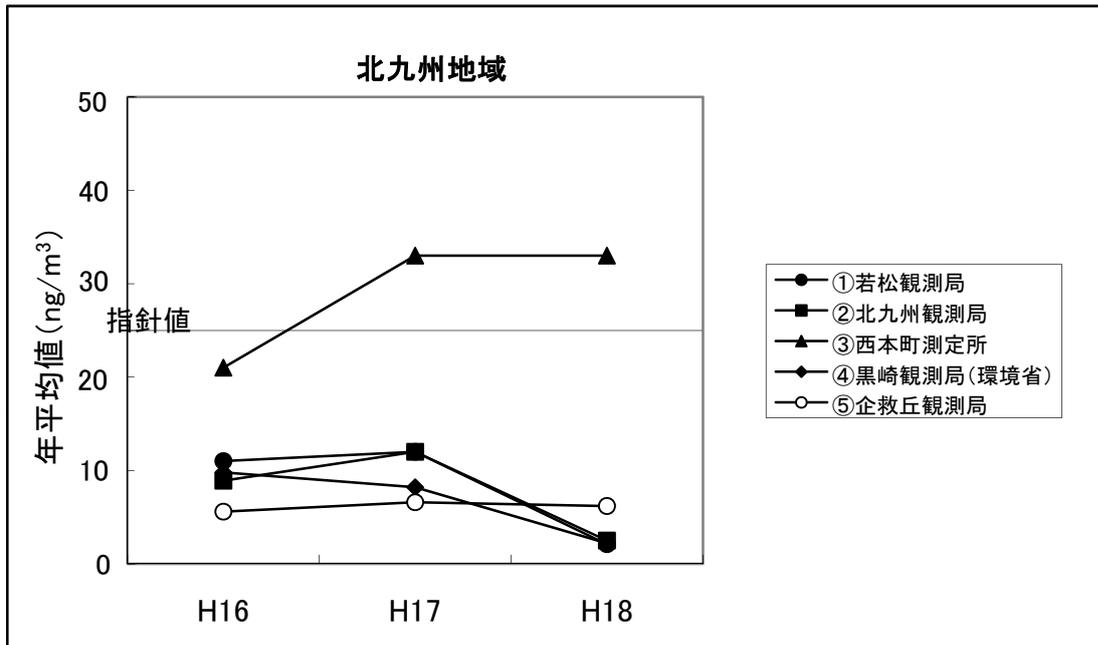




図表 北九州地域の周辺状況（ニッケル化合物、継続超過地域）

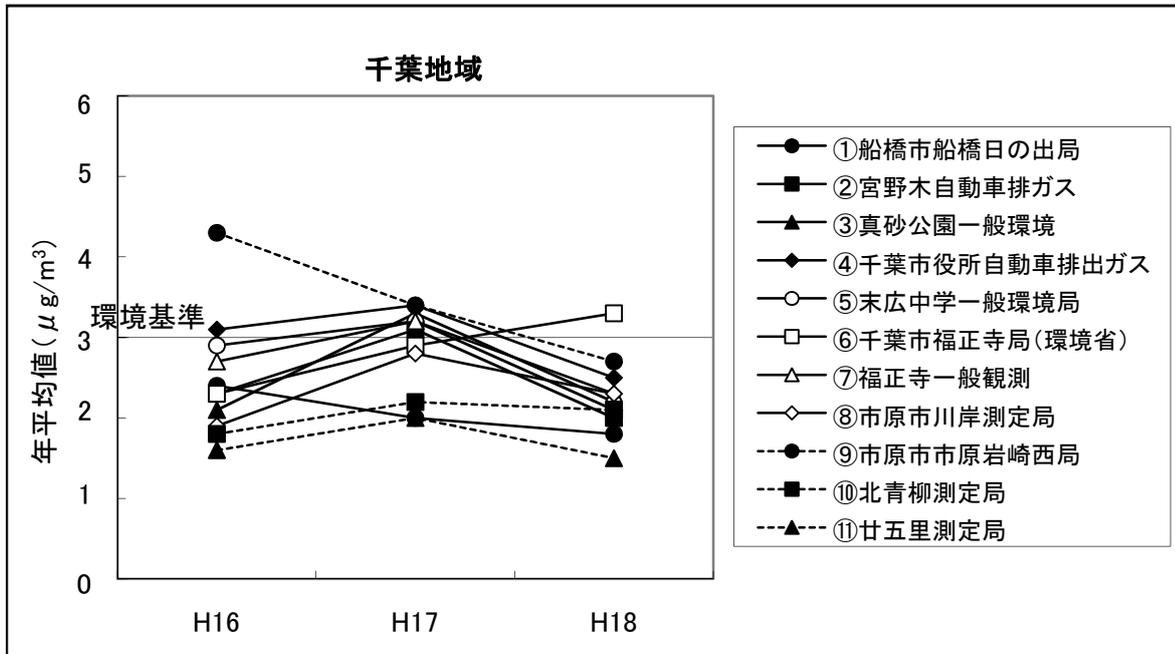
北九州地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		(ng/m ³)		(ng/m ³)		(ng/m ³)		
①若松観測局	発生源周辺	11	12	12	12	2.1	13	
②北九州観測局	発生源周辺	8.9	12	12	12	2.5	9.5	
③西本町測定所	沿道	21	12	33	12	33	12	A)
④黒崎観測局(環境省)	発生源周辺	9.8	12	8.2	12	2.2	4.1	
⑤企救丘観測局	一般環境	5.6	12	6.6	12	6.2	12	



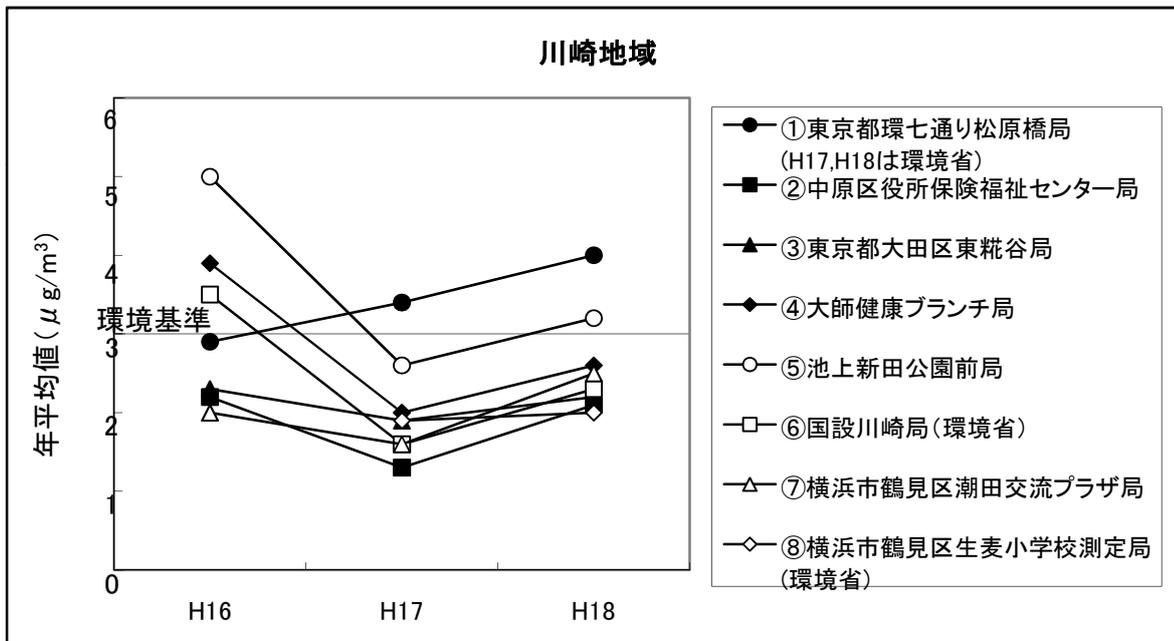
千葉地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①船橋市船橋日の出局	沿道	2.4	12	2	12	1.8	12	
②宮野木自動車排ガス	沿道	2.3	12	3.1	12	2	12	
③真砂公園一般環境	一般環境	2.1	12	3.3	12	2.2	12	B)
④千葉市役所自動車排出ガス	沿道	3.1	12	3.4	12	2.5	12	
⑤末広中学一般環境局	発生源周辺	2.9	12	3.2	12	2.1	12	
⑥千葉市福正寺局(環境省)	発生源周辺	2.3	12	2.9	12	3.3	12	B)
⑦福正寺一般観測	発生源周辺	2.7	12	3.2	12	2.3	12	
⑧市原市川岸測定局	発生源周辺	1.9	12	2.8	12	2.3	12	
⑨市原市市原岩崎西局	発生源周辺	4.3	12	3.4	12	2.7	12	
⑩北青柳測定局	発生源周辺	1.8	12	2.2	12	2.1	12	
⑪廿五里測定局	一般環境	1.6	12	2	12	1.5	12	



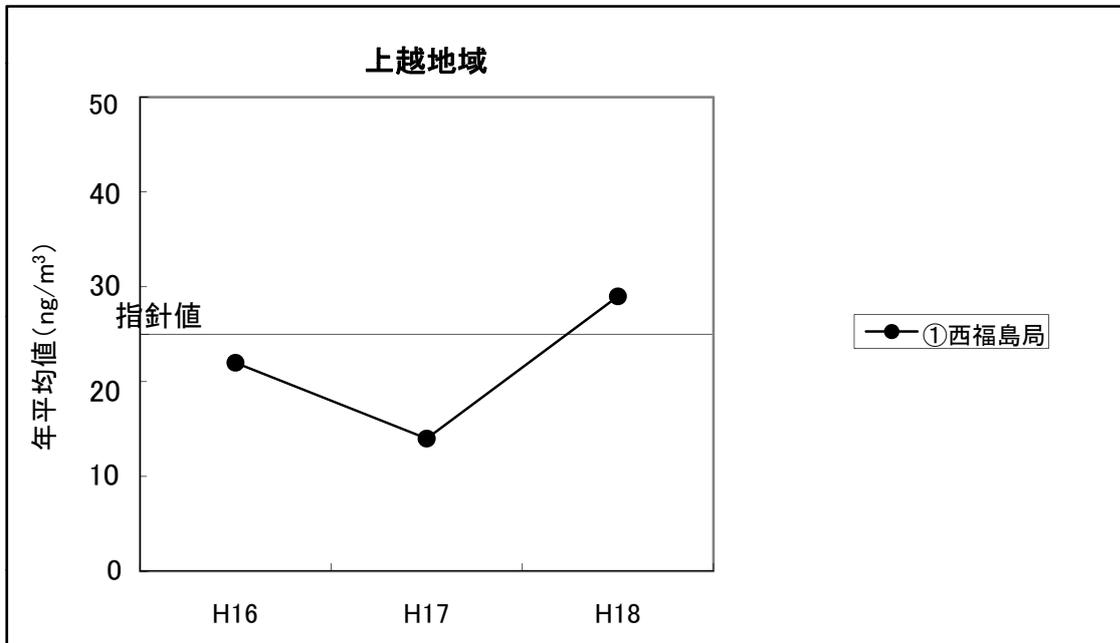
川崎地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	測定回数	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	測定回数	年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	測定回数	
①東京都環七通り松原橋局 (H17, H18は環境省)	沿道	2.9	12	3.4	12	4	12	A)
②中原区役所保険福祉センター局	一般環境	2.2	12	1.3	12	2.1	12	
③東京都大田区東糀谷局	一般環境	2.3	12	1.9	12	2.2	12	
④大師健康ランチ局	発生源周辺	3.9	12	2	12	2.6	12	
⑤池上新田公園前局	発生源周辺	5	12	2.6	12	3.2	12	B)
⑥国設川崎局 (環境省)	一般環境	3.5	12	1.6	12	2.3	12	
⑦横浜市鶴見区潮田交流プラザ局	発生源周辺	2	12	1.6	12	2.5	12	
⑧横浜市鶴見区生麦小学校測定局 (環境省)	発生源周辺	—	—	1.9	12	2	12	



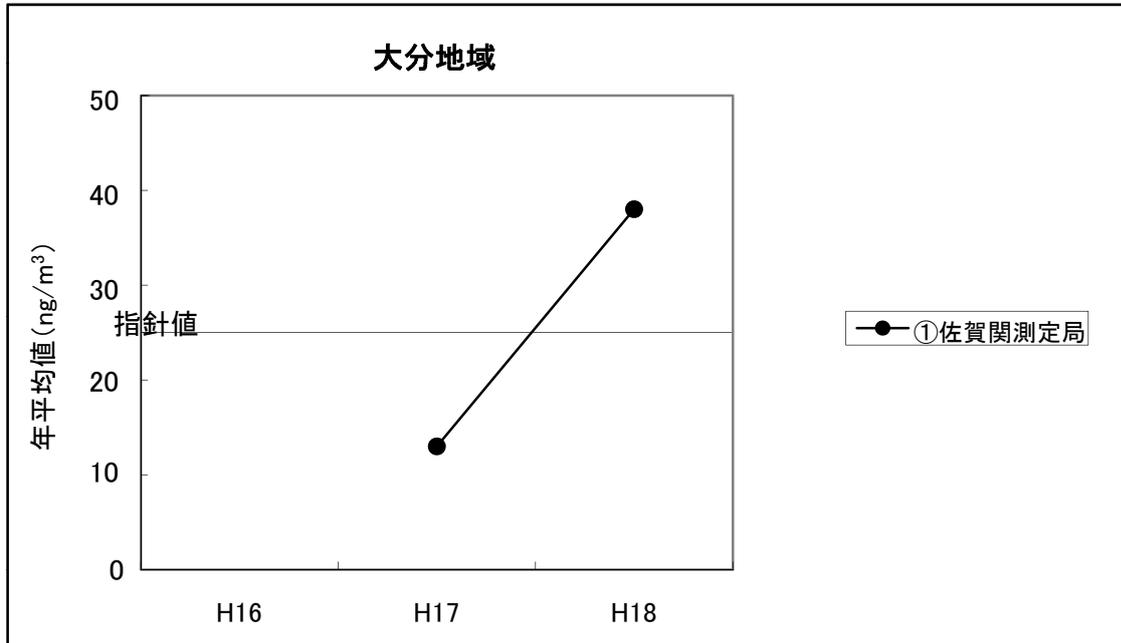
新潟地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		(ng/m ³)		(ng/m ³)		(ng/m ³)		
①西福島局	発生源周辺	22	12	14	12	29	12	B)



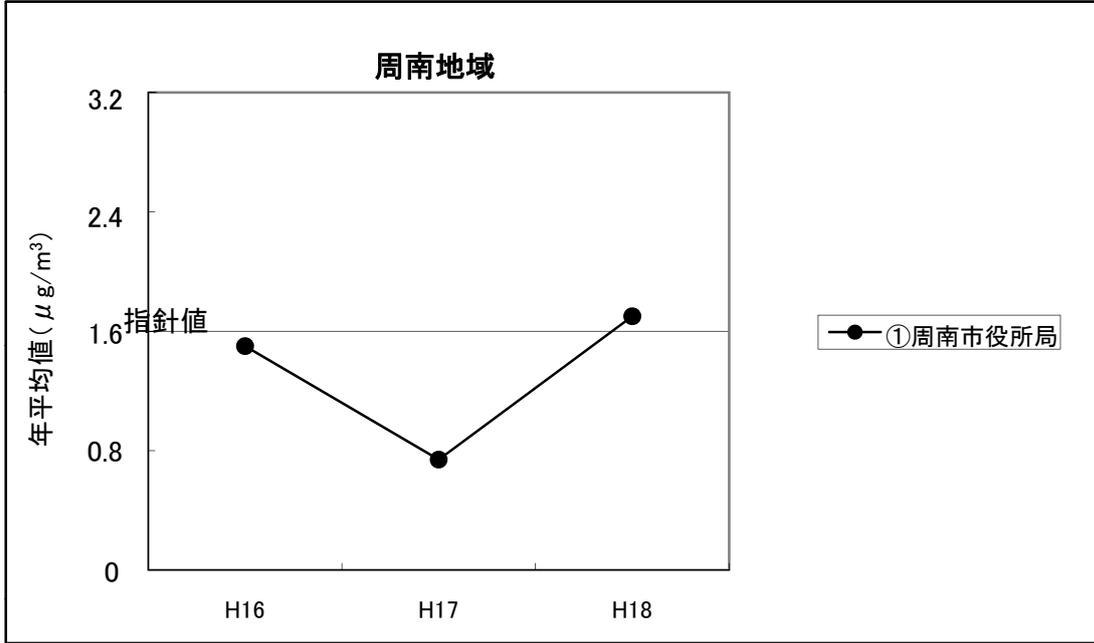
大分地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		(ng/m ³)		(ng/m ³)		(ng/m ³)		
①佐賀関測定局	発生源周辺	—	—	13	12	38	12	B)



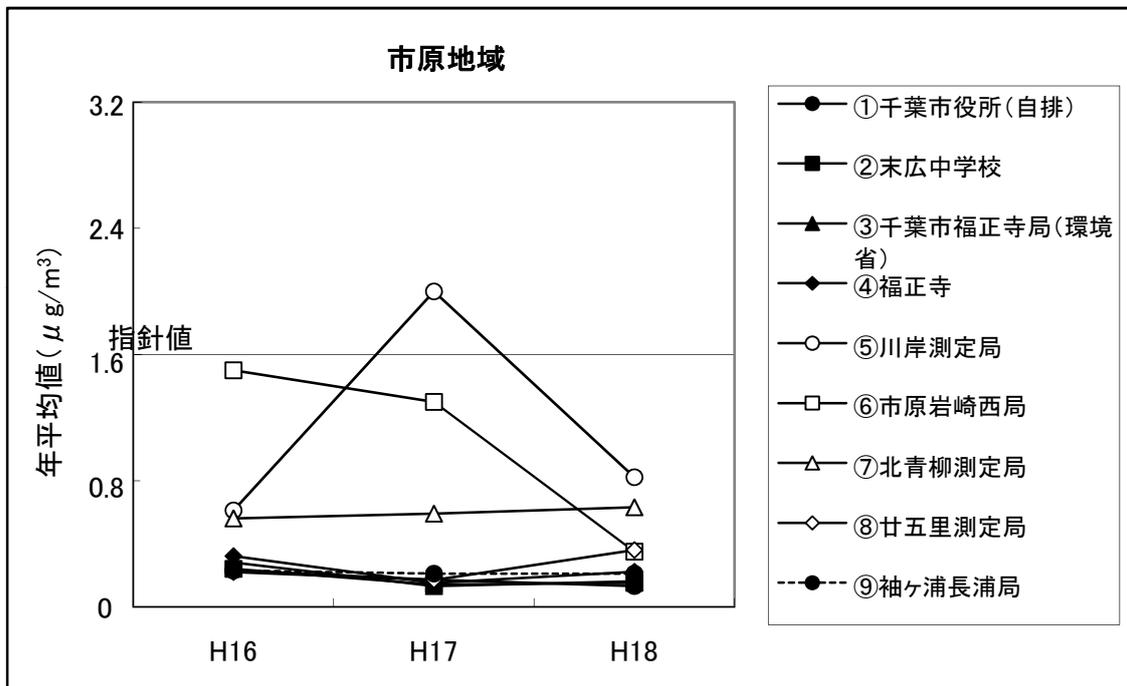
周南地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①周南市役所局	一般環境	1.5	12	0.74	12	1.7	12	B)



市原地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①千葉市役所(自排)	沿道	0.23	12	0.17	12	0.13	12	
②末広中学校	発生源周辺	0.24	12	0.14	12	0.15	12	
③千葉市福正寺局(環境省)	発生源周辺	0.28	7	0.13	12	0.16	12	
④福正寺	発生源周辺	0.32	12	0.15	12	0.22	12	
⑤川岸測定局	発生源周辺	0.61	12	2	12	0.82	12	B)
⑥市原岩崎西局	発生源周辺	1.5	12	1.3	12	0.35	12	
⑦北青柳測定局	発生源周辺	0.56	12	0.59	12	0.63	12	
⑧廿五里測定局	一般環境	0.22	12	0.17	12	0.36	12	
⑨袖ヶ浦長浦局	発生源周辺	0.23	12	0.21	12	0.21	12	



倉敷地域の環境モニタリングデータ

測定局名	地域分類	平成16年度		平成17年度		平成18年度		測定局ベースの分類結果
		年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	年平均値	測定回数	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		
①都窪郡長津大気測定局	沿道	2.5	12	0.22	12	0.12	12	
②倉敷美和局	一般環境	0.083	12	0.14	12	0.19	12	
③大高測定局(環境省)	沿道	—	—	0.097	12	0.14	12	
④春日局	発生源周辺	0.12	12	0.17	12	0.19	12	
⑤乙島東幼稚園	発生源周辺	0.089	12	0.16	12	0.15	12	
⑥松江局	発生源周辺	1.1	12	1	12	4.6	12	B)
⑦塩生局	発生源周辺	0.32	12	0.38	12	0.33	12	

